

一般会計予算 167億8000万円

(前年度 164億1000万円)

☆ふるさとづくり ☆まちづくりを担う学びあい・人づくり

☆交流による躍動するまちづくり ☆人にやさしいまちづくり (子育て支援の推進)

平成21年度鶴ヶ島市一般会計予算及び特別会計予算6議案は、所管の常任委員会に付託され、審査されました。委員会での審査結果は、いずれも『可決すべきもの』で、最終日の本会議において採決の結果、可決されました。

地方揮発油譲与税

Q 内容と700万円の減額理由は、

A 財政課長 道路特定財源の一般財源化に伴う措置で、地方道路譲与税の名称が改められたものである。20年度の交付実績や地方財政対策に基づき、減額と見込んだものである。

自動車取得税交付金

Q 6000万円の減額理由は、

A 財政課長 自動車購入時に原税として課税される自動車取得税を原資として交付されるもので、自動車販売台数が減れば減額となる。よって、20年度の実績等から積算した結果、減額と見込んだものである。

収税事務費

Q 新しい取り組み等は検討されているのか。

A 収税対策課長 インターネット販売に係る経費を予算措置している。

なお、引き続き換価性の高い債権を優先的に差し押さえ、徴収についても力を入れていきたいと考

えている。

生活保護費

Q 全国的に受給者が増えているが、本市の状況は、

A 社会福祉課長 申請件数については、増加はしているが今のところ大きな伸びではない。しかし、相談件数については、非常に増えている状況である。

保育所待機児童

Q 待機児童の解消に向けた予算となっているのか。

A こども支援課長 待機児童解消については、各保育園と協議し、相当考慮した予算となっている。特に前年度1、2歳児の待機が多かったため、21年度は低年齢児の受け入れ枠を広げること



鶴ヶ島保育所

より委託料が増額しているものがある。

公共施設保全管理事業



庁舎の設備点検作業

Q 内容について。

A 建築課長 昨年3月に策定された「鶴ヶ島市公共施設保全の考え方」を受けて、消防設備をはじめとする管理業務の委託を建築課に集約したもので、市庁舎、保育所、公民館等16施設を対象に行うものである。

地域ICT利活用モデル構築事業

Q 財源について。

A 市民協働推進課主席主幹 20、21年度の国庫委託金の合計が1億167万9000円で、一般財源を含めた合計が1億214万3000円となる。

Q 事業の現在の状況について。

A 市民協働推進課主席主幹 昨年10月に第三セクターとして立ち上げた地域協働推進機構がシ

ステム開発を受託し、現在システムの開発にあたっている。

庁舎エネルギー診断等調査事業

Q 内容について。

A 財政課長 庁舎にある空調や照明等の機器類を省エネルギータイプに改修する経費を、現在の光熱水費の削減分で更新できるかどうか調査するものである。

共栄一本松線

Q 供用開始はいつになるのか。

A 道路建設課長 5か年計画で20年度から着手し、24年度末の供用開始を目標としている。現在、路線測量及び建物物件調査を終えているので、21年度は、用地買収に入る予定である。



開通が待たれる共栄一本松線

学校応援団支援事業

Q コーディネーターは、どのような人がなっているのか。